



# 心磨・本学・心鍛

鶴ヶ島中学校  
 学校だより  
 R1.12.24  
 No. 8  
 校長：青柳 高

心を磨く 本気で学ぶ 心身を鍛える

## 鶴中駅伝部 全国に鶴ヶ島の名を轟かす

12月15日(日)滋賀県の希望が丘文化公園で行われた第27回全国中学校駅伝大会に本校の女子駅伝チームが出場し、各都道府県から選ばれた49チーム中『9位』という快挙を成し遂げることが出来ました。関東大会では7位であり、前に6チームいたのが今回は、鶴中の前に関東のチームは6位に千葉がいるだけでした。まさに、関東大会の悔しさをバネに、選手一人一人が持てる力を出し切った結果でした。また、この結果は、監督・顧問・コーチを中心とした選手団(鶴中駅伝部)、応援する生徒や保護者、教職員、そして地域の方々が『ワンチーム』となつての応援が選手を後押しして達成できたと思います。



## 常に前を目指す女子駅伝チーム

応援バスは朝6時に会場に到着したので、選手の走るコースを歩いてみました。滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ランドのコースは、最後のトラック以外は柔らかな芝生で所々が砂地となっており選手としては走りづらいコースでした。最後トラックに入る前がのぼりとなっており選手泣かせのコースだったと思います。



午前11時に、49チーム(47都道府県の各1位と開催地代表1チーム、開催市町の選抜チーム)が横一線に並んでのスタート(写真の左から14番目が鶴中)です。流石に各地区から選ばれただけあって、どの選手も粘り強い走りでした。トラックに入ってから残り約300m地点の所で、写真を撮りながら応援をしていました。鶴中の5人の選手がトラックに入ってくるとき前後数メートル以内に他のチームがいる混戦状態でしたので応援にも熱が入りました。



最終5区の選手がトラックに入ってきた時は応援する声も最高潮に達していました。9位でゴールした時は、「良かった」と褒めてあげようと思いました。

レース終了後、急いで鶴中のペーストに戻ると、そこで見たのは、走り終えた女子駅伝チームの涙して悔しがっている姿でした。これまで何度も自分の限界に挑戦し、何度も乗り越えてきた山をまた乗り越えようとしていると感じました。3年生は、次にそびえ立つ大きな山に向かい、1・2年生は、来年こそはと今つけた大きな山に向かいスタートを切ったと感じました。



## 女子駅伝チームが繋げた地域の輪

11月9日埼玉県駅伝競争大会で女子駅伝チームが優勝し、全国・関東大会を決めた直後、鶴ヶ島市教育委員会や市役所の職員がいち早く動いてくれました。また、市役所の玄関に掲げてくれたポスターと同じものを学校や地域に配布する分も作ってくれたり、応援バスで資金不足を補うために、ある社長は、市内や近隣の企業に呼びかけられました。よくよく動いて頂いた方に話を聞くと、鶴ヶ島中学校の卒業生であり、鶴中を愛してやまない方々でした。中には当時の駅伝部で活躍していた方もおりました。ちょうど同窓会が開かれた年代の方は、その会の中で協力金を集めてくれました。また、電車を乗り継いで直接会場に応援に来てくれた卒業生もいたのには驚きました。また、応援してくれた方は卒業生だけではなく、横断幕を作ってくれた企業、記念Tシャツやタオルを格安で作ってくれた企業、旅行会社やバス会社までが協力してくれました。その輪が広がり、市内の企業や近隣の企業まで協力して頂いたのには驚きました。

先日、市長への報告会が行われました。選手一人一人の言葉の中には、次への目標の決意と、協力して頂いた方々への感謝の言葉がありました。

鶴ヶ島中学校の目指す生徒像に5つの目標が示されています。

- ①何事にも感謝の心をもつ 鶴中生
- ②母校を誇りに思い 仲間を大切にす 鶴中生
- ③授業に燃える 鶴中生
- ④行事や諸活動に燃える 鶴中生
- ⑤困難なことにも挑戦する 鶴中生

女子駅伝チームの選手は、この中の①②⑤を示してくれました。

今回の大会を振り返ると、「母校を誇りに思い 仲間を大切にす 鶴中生」に関しては、鶴中の卒業生が代々繋いで来ていると感じました。今回、女子駅伝チームがそのことを呼び起こし、市内全域に繋げてくれたと思いました。また、選手の感謝の言葉にもありましたが、選手や家族の長期間にわたる支えは、計り知れないものがありました。駅伝部の皆さんおよび選手が繋いでくれたすべての方々に感謝申し上げます。



## 2020年を迎えるにあたって

2019年があと数日で終わろうとしています。本年度が始まり9ヶ月間が過ぎました。どの学年も4月から比べると見違えるほど立派に成長していると思います。これも保護者の皆様のご理解とご協力あってのことと感謝申し上げます。

3年生は、進路選択という大きな決断の時を迎え、自分のことで精一杯となりがちなか、面接で「学年の良いところは？」と聞くと「各クラス仲の良いところ」「一生懸命になるところ」「今のクラスの状態」など応えてくれます。行事などを通して絆が深まってきたことがうかがえました。

2年生は、部活動や生徒会活動の世代交代を通して、多くの生徒が自覚した言動がとれるようになってきました。また、大きな行事である修学旅行に向けての取り組みも始まりました。

1年生は、中学校生活にも慣れ、体力も付き、部活動でも活躍を見せることが出来るまでになってきました。現在、スキー宿泊学習に向け実行委員会が動き始めました。先日、実行委員長と副委員長が校長室に挨拶に来ました。スローガンに加えて学校教育目標を聞くと、すんなりと答えてくれたのには驚きました。

2020年を迎えるにあたって、2学期終業式では「働く理由」について生徒に問いかけました。10年後は、今ある職業の多くが無くなると言われていて、どんな時代が来るのか不安にもなる様な事ですが、「働く理由」を考えると、明るい未来が見えてくる気がします。保護者の方も、①自分が中学生の時に何を考えていたのか。②「働く理由」の2つについて子供と一緒に話して話してみてください。終業式で出てきた理由と併せて、いろいろな考えが出てくることを期待します。その「働く理由」を踏まえて2020年の目標が決められると素晴らしいと思います。

因みに、私が中学生を卒業する時の将来の夢は、今から45年前の話ですが、「プロサッカー選手」か「大工さん」でした。

そして、来年の夢は、……次号につづく

## 1月・2月の行事

日	曜	1月の行事
8	水	始業式・学活、下校時刻16:45～1/14
9	木	給食開始、諸集金日、Ⅲ期時間割開始
13	月	成人の日
14	火	月曜日課+木⑥、学年朝会（1年：体、3年：プ）
15	水	専門委員会、⑥カット、下校時刻17:00～1/31
16	木	学校公開日、火曜日課 学年朝会（2年：体）、2学年保護者会
17	金	1学年⑥カット・5校時事前学習
19	日	1学年スキー宿泊学習（～1/20）
21	月	1学年振替休業日
22	水	私立入試中心日
23	木	第2回学校保健委員会
24	金	民生児童委員協議会、英検 P T A バザー13:00～
25	土	鶴ヶ島市児童生徒美術展（市中央図書館～1/26）
28	火	生徒会朝会
29	水	新入生保護者会14:30～
31	金	小中連絡会、4時間授業⑤⑥カット

## 『鶴』北市民センターにて初講演

12月8日（日）北市民センターにて、第一地区青少年健全育成協議会主催の子育て講演会が行われました。講演は、鶴ヶ島市立西中学校出身の3人組バンドでした。前半が講演会を後半がミニライブという形で大変盛り上がった講演会でした。中学校時代の3人はサッカー部、バスケット部、陸上部と別々でしたが、部活動を離れると、それぞれドラムやギターに熱中していたそうです。中学校卒業後は別々の高校に進学し、高校卒業後は好きな音楽を続けるために3人それぞれが、親を説得して別々の音楽活動を続けたそうです。2003年に「鶴」を結成。2019年9月に鶴ヶ島市のふるさと応援大使に任命。

2019年10月6日に鶴ヶ島の運動公園にて、結成15周年を記念して、全国各地を回った凱旋ライブを実施。鶴ヶ島PRに燃える3人組でした。



## 日光街道清掃ボランティア活躍

12月4日（水）に日光街道清掃が行われました。生徒会がボランティアを募集したところ、1年生が99人、2年生が95人、3年生が40人参加してくれました。総勢234人での落ち葉掃きでした。



日	曜	2月の行事
3	月	下校時刻17:15（～2/14）
4	火	学校朝会
5	水	第3回植栽作業15:30～
6	木	諸集金日
11	火	建国記念の日
12	水	生徒会朝会、植栽作業予備日
13	木	3年学期末テスト：技家・国・英
14	金	3年学期末テスト：社・数・理
		2学年：修学旅行事前指導⑤ 3学年：公立高校出願指導⑤
15	土	下校時刻17:30（～3/14）
16	日	2学年修学旅行（～2/18）
17	月	県立高校願書提出（3学年4校時から）
19	水	2学年振替休業日
20	木	県公立志願先変更、⑥カット、専門委員会
21	金	県公立志願先変更、①カット、専門委員会、新入生説明会
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日